

# 西地域を より住みやすい街にするには

「つるせ西だより」は、情報発信の役目を持つことはもちろんですが、今回の特集テーマである「西地域をより住みやすい街にするには」どうすればよいか考える機会を持つことも大きな役目ではないかと、編集委員一同考えています。

常日ごろ、編集会議の中で話題になっている、何十年後の地域の姿や早く実現してほしい課題など記してみました。皆さんのご希望もお聞かせください。

## いっぱい友だちを持ちたい

萩原 弘 編集委員

私は、昭和15年(1940年)小学校に入学。当時鶴瀬村の人口は約3,000人程でした。勝瀬から関沢までの人々がみんな友だちでした。それは鶴瀬村には小学校が1つしかなかったので情報は学校での会話から村内にすぐ知れ渡ってしまい人間関係を密にしたのだと思います。

現在私たちの周囲はどうでしょうか?近所の方々との関係に昔のような人間関係が見られなくなって来ているように思います。

忙しい社会事情がありますからご近所さん同志のコミュニケーションがとりにくくなっているのかも。

私はできるだけたくさんの方々とおしゃべりをしたり、また趣味を生かした活動を地域の皆さんとできれば、そんな小さなことでも住みよい街ということに連なって行くのではと思っています。



## 楽しく気軽に交流できたらいいのに

井之川 文子 編集委員

現在西地域では、高齢化が進み、空き家が目立つようになりました。最近では一人暮らしの高齢者の孤食問題もあるので、空き家を活用して、いろいろな人が気軽に集えるカフェ(食堂)が出来たら良いのではと思います。みんなで食事が出来る場所があれば、会話も弾み、地域でのコミュニケーションがとれると思います。

それと、人口密度が高い西地域ですが買い物出来る場所が少なく、公共交通手段のバスもありません。いずれ買い物難民がでるのではないかと考えています。高齢だったり体調不良や小さなお子さんがいたりなどで買い物に出掛けるのが大変な時は誰にでもあると思います。そんな時近所の公園や空き地などに移動スーパー(商店)やキッチンカーが月に何度か来てくれたらなあと思います。直接目で見て選べる楽しみやいろいろな人との交流も生まれ、もっと住みやすい街になると思います。

## 年を重ねても外に出たいよね

両角 秀子 編集委員

今は、市内であれば、運動を兼ね、ほぼ徒歩で行動していますが、いつまでこの行動パターンが維持できるか不安になるこのごろです。

それというのも住んでいる関沢地区は、バスが走っていないのです。デマンドタクシーの制度は作っていただいているのですが、駅から乗車したくても電話して予約しなくてはならないなど少々不便です。

循環バスがあったらいいなと思います。道の狭さやお金がかかること、多々困難はあるでしょうが、実施に向けて検討して欲しいものです。

時速20キロ未満の小型電気自動車を利用、運営母体は地域住民が主体という葛飾区の実証実験が目にとまりました。参考になるかも。

## これからの学校教育は

笠原 敬一 編集委員

今、教育環境を取り巻く状況は児童生徒数の減少と学校が抱える課題の複雑化、困難化があり、地域では少子高齢化の進行、地域社会のつながりや支え合いの希薄化による社会形成の色々な問題がおきています。この様なことから文部科学省では学校と地域住民等が力をあわせて学校運営に取り込む「コミュニティ・スクール」と学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施を推進しています。この構想は文科省のホームページに掲載されています。特に助け合いの精神やボランティア精神、お互いを尊重し合いながらの共同活動などは、年をとってからはなかなかなじみません。「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という新学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、一体となって子どもたちの成長を支えていくことで、地域での世代を超えた助け合いのできる社会になればいいなと思います。是非皆様もできることから学校応援団等や、運営に関わって頂きたいです。

## 私の「翔んで西地域！」

川上 喜久治 編集委員



近未来鶴瀬駅西口周辺のイメージ

人口密度の高い西地域は、居住者の高齢化に伴う空き家が増えている。今日、この従来からの住宅地を狭小宅地に分割し建売りされ、住環境の悪化が一層懸念される。

数十年先の「住み良い街づくり」を考える時、基幹となる道路網の整備を急ぐ必要がある。

そこで、奇抜とも思える案件を3点ほど提起してみたい。

- ①鶴瀬駅西側からみずほ台駅西側に通じる幹線道路を造る。
- ②鶴瀬駅の地下駅化する。これによって県・市道の踏切による交通渋滞を解消し、空き地となった鉄道用地には地下駅上に駅ビル(商店街兼オフィス・マンション)を建て、周辺は老・若者たちが集い憩える緑地公園を設ける。東西の駅前広場は一階の駅コンコース(歩行者専用)で結ぶ。
- ③三芳町との協議になるが近未来を見越して、現在の西交流センターと一部農地を取得して両市町が連携し合同庁舎ビルを建設する。水害等を回避し20万人都市を目途に、市政の中心として市役所と議会及び多目的ホール付き公民館・図書館等の文化施設を併設する。最上階にはコミュニティ・カフェ、レストラン(市民食堂)を設けたい。



LRT(未来系路面電車)みたい?なイメージ写真 萩原編集委員作